

【主担当部局：雇用経済部】

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

平成 28 年の伊勢志摩サミット開催で大きく向上した本県の知名度や、これまで培ってきたさまざまな強みを生かし、産学官が一体となった取組により、ものづくり産業や食・観光など県内企業の海外展開が進むとともに、優れた企業の誘致や、グローバル人材の相互交流により地域に新たな活力と価値が創造されています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2 年度		3 年度	4 年度	5 年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
海外展開に取り組んでいる 県内企業の割合		21.0%		22.0%		24.0%
	19.9%					
目標項目の説明と令和3年度目標値の考え方						
目標項目 の説明	「三重県事業所アンケート」において、「輸出」、「海外拠点の設立」または「外国人観光客の受入」を行っているという回答した企業の割合					
3 年度目標値 の考え方	全国の中小企業の海外展開の状況を参考として、計画期間内に全国平均（22.0%）を追い越すことをめざしており、令和5年度の目標を達成するため、毎年1ポイント増加させていくこととして令和3年度の目標値を22.0%に設定しました。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2 年度		3 年度	4 年度	5 年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
県が海外展開の支援・関与を行った企業数（累計）		20 社		40 社		80 社
	—					
国際的な視野を持つ若者の育成に取り組んだ件数		14 件		16 件		20 件
	8 件					

現状と課題

- ①新型コロナウイルス感染症の拡大により、特定国に依存する製品・部素材の輸入が滞ったことにより県内で製造ができない状況が続くなど、サプライチェーンの毀損は本県にとって大きな痛手となりました。また、輸入に加え、輸出も停滞していることから販路開拓も急務の課題となっています。

- ②新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度に予定していた事業（タイ、スペイン・バスク自治州との連携事業や国際インターンシップの受入）の延期を余儀なくされました。今後の感染状況を見ながら、速やかに事業再開する必要があります。
- ③新型コロナウイルス感染症収束後の国際情勢を見据え、「みえ国際展開に関する基本方針」の改定を検討していく必要があります。
- ④三重県産業支援センター、日本貿易振興機構（JETRO）、県内金融機関・損害保険会社等が連携して運営する「三重県国際展開支援窓口」を活用し、県内中小企業・小規模企業等の海外ビジネス展開を支援しています。
- ⑤日本貿易振興機構（JETRO）が行う貿易相談、セミナー、貿易実務やビジネス英語講座、メールマガジンなどの支援メニューを活用して、県内中小企業・小規模企業等の国際展開を支援しています。
- ⑥大使館への訪問等に加え、姉妹・友好提携先とのオンライン会談の実施や親書による交流など、海外とのネットワークの強化に取り組んでいます。引き続き、今後結びつきを強める国とのネットワークの強化を図る必要があります。
- ⑦伊勢志摩サミット基金を有効に活用し、第9回太平洋・島サミットの機会を捉えた関連事業や、伊勢志摩サミット記念館「サミエール」を活用した情報発信、「みえ国際ウィーク」の取組など、国際化の観点から人を呼びこむ取組や人材育成につながる取組を進める必要があります。
- ⑧平成31年3月にスタートした「みえグローバル学生大使」は、高校や大学等を通じて新たな大使の勧誘を行うとともに、第9回太平洋・島サミットへの参画など、活躍の場を広げることにより意欲的な若者を育成していく必要があります。

### 令和3年度の取組方向

- ①新型コロナウイルス感染症の影響により疲弊した中小企業等の国際展開を促進し、県内経済の回復につなげるため、オンライン商談を含む商取引の促進や海外ミッション団の派遣、「三重県国際展開支援窓口」の活用等を通じて、国際ビジネスの活性化を図ります。
- ②新型コロナウイルス感染症収束後の情勢をふまえた県内企業の国際展開やインバウンド拡大について協議するため、「みえ国際展開推進連合協議会」を開催し、委員からいただいた意見を「みえ国際展開に関する基本方針」の改定につなげます。
- ③「三重タイイノベーションセンター」において、タイ事業者に対して本県の食の魅力発信や食品加工技術のPRを行うことにより食の販路拡大を図るとともに、食品加工にかかる現地の人材育成に貢献します。また、エレクトロニクス分野における現地企業の品質向上を支援することにより、当該企業と取引のある県内企業の品質・競争力向上につなげます。
- ④三重大学と連携した国際インターンシップの受入を推進することにより、県内企業の高度外国人材獲得を支援するとともに、海外の優秀な人材に三重県ファンになっていただくよう取り組みます。
- ⑤大使館・領事館等の活動への協力や、姉妹・友好提携等に基づく自治体間交流、民間の交流団体と連携したPR事業の実施や、国際協力機構（JICA）や国際環境技術移転センター（ICETT）など国際協力団体の活動への支援など、様々な交流活動を進めます。
- ⑥令和3年度に本県との友好提携35周年を迎える中国河南省、同じく25周年を迎えるパラオ共和国について、友好交流を深化させられるよう、周年記念事業を行うとともに、その後の交流に向けた準備を進めていきます。

- ⑦伊勢志摩サミット基金を活用し、第9回太平洋・島サミットの機会を通じた本県のPRや、「みえグローバル学生大使」や「みえ国際ウィーク」の取組を通じた国際的な視野を持つ若者の育成に積極的に取り組みます。また、「サミエール」やSNSを活用した情報発信を進めていきます。

## 主な事業

- ①県内中小企業国際展開促進事業【基本事業名：33301 海外事業展開の推進】  
予算額：(R2) 15,473千円 → (R3) 14,988千円  
事業概要：県内企業の国際競争力向上を図り、成長著しいアジアをはじめ海外市場の獲得を本県産業の発展につなげるため、三重県国際展開支援窓口を構成する日本貿易振興機構（JETRO）や三重県産業支援センター、県内金融機関等の各支援機関と連携し、県内中小企業・小規模企業の国際展開を支援します。
- ②（新）サプライチェーン多元化・販路拡大支援事業【基本事業名：33301 海外事業展開の推進】  
予算額：(R2) ー千円 → (R3) 57,273千円  
事業概要：新型コロナウイルス感染症の拡大により大きな影響を受けたサプライチェーンの多元化や、停滞する輸出に対応した新たな販路開拓を推進するため、県内中小企業が行う調達先や販路の拡大を支援します。
- ③三重・タイ産業人材育成協力事業【基本事業名：33301 海外事業展開の推進】  
予算額：(R2) 5,467千円 → (R3) 1,850千円  
事業概要：「三重タイイノベーションセンター」を活用し、県内中小企業のタイ進出や販路開拓を支援します。また、タイの技術者育成に取り組むことを通じて、県内企業が優秀な技術者を確保する機会を拡大します。
- ④（一部新）国際ネットワーク強化推進事業【基本事業名：33302 国際交流の推進】  
予算額：(R2) 8,422千円 → (R3) 10,764千円  
事業概要：県内企業の国際展開や国際的な視野を持つ若者の育成につなげるため、姉妹・友好提携先や駐日大使館、領事館とのネットワークの維持・強化、国際的な活動を行う民間団体の支援など、様々な交流活動を進めます。また、友好提携35周年となる中国河南省、同じく25周年となるパラオ共和国について記念事業を行います。
- ⑤国際ウィーク等推進事業【基本事業名：33302 国際交流の推進】  
予算額：(R2) 3,029千円 → (R3) 1,893千円  
事業概要：伊勢志摩サミットのレガシーを三重の未来に生かしていくため、財源となる基金の管理を適切に行うとともに、第9回太平洋・島サミットの県内開催を有効に活用して、伊勢志摩サミット記念館「サミエール」における情報発信、「みえ国際ウィーク」、「みえグローバル学生大使」などの取組を進めます。